



谷川岳高山植物図鑑
複製画展



群馬県庁1階 県民ホール(南側)

〒371-8570

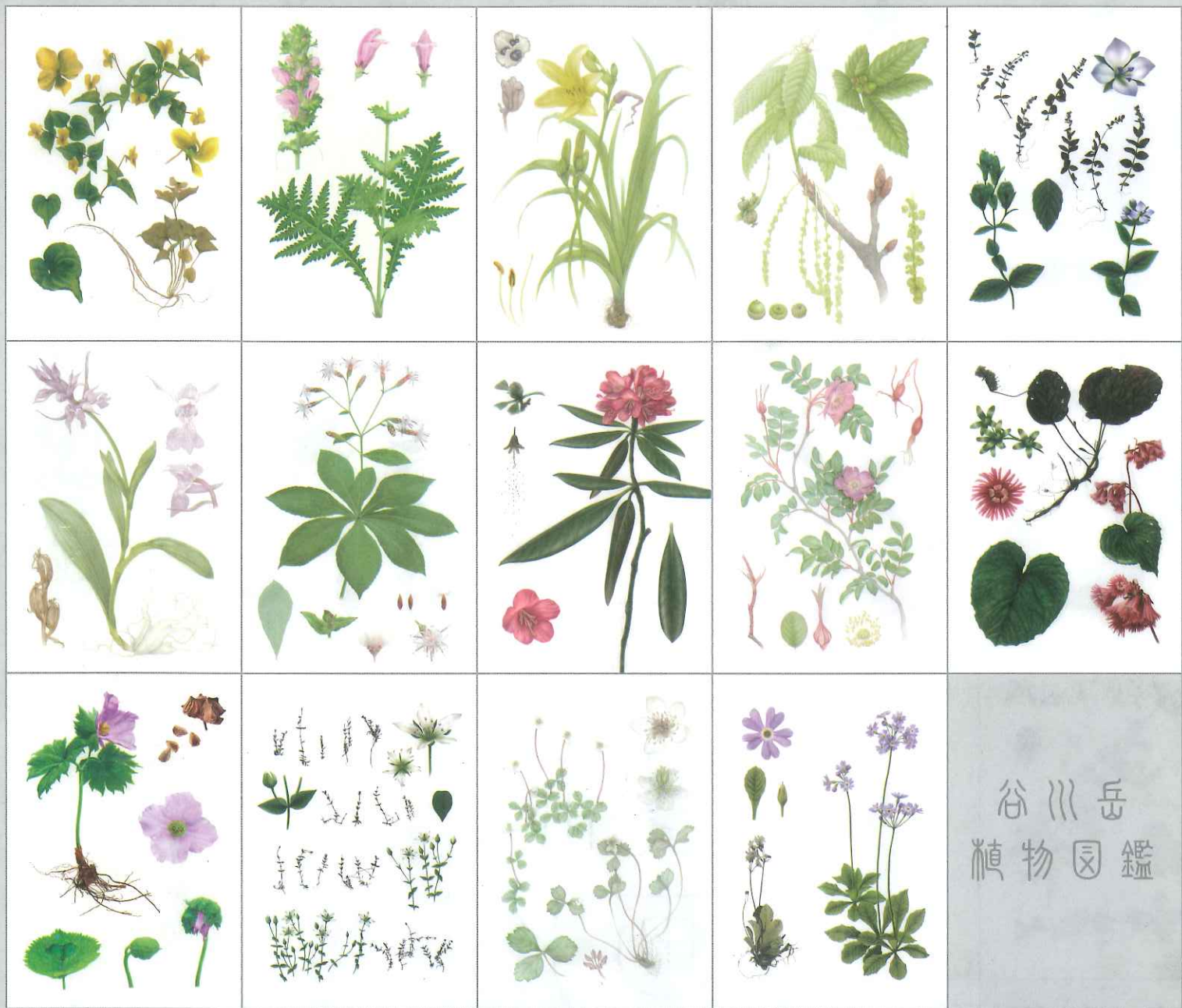
前橋市大手町 1-1-1

平成24年

5月30日(水)~6月5日(火)

開催時間: 9:00~18:00

(初日:13:00~18:00 最終日:9:00~15:00)



「谷川岳」を擁するみなかみ町は、その谷川岳の自然、歴史、文化を知っていただくと共に自然環境を保全するエコツーリズムを展開することによって観光振興を図っております。この度、関係各位のご支援とご協力により谷川岳の特徴的な植物の中から40種を選び植物図鑑の作成を開始致しました。

植物図鑑の作成にあたっては、みなかみ町芸術の町づくり事業をみなかみ町と共同で推進している東京藝術大学の協力のもと、図鑑としての機能と芸術性を兼ね備えた作品として、他に類のない図鑑の魅力が期待できます。

谷川岳の新たな顔として植物に視点をあてることで、谷川岳地域の自然の素晴らしさと保全の必要性を、エコツーリズム事業をとおして自然と芸術の側面から広めていく計画です。

谷川岳エコツーリズム推進協議会準備会
会長 みなかみ町長 岸 良昌

谷川岳の高山植物は、豊かな自然に生まれ、この地域固有の美しい姿をわれわれに示してくれます。みなかみ町の谷川岳エコツーリズム推進協議会の依頼によって、東京藝術大学油画技法材料研究室は、昨年度から谷川岳高山植物図鑑を作成しようと、大学院学生と卒業生の皆さんが植物画に取り組みました。

谷川岳の植物に長年親しみ、多数の植物標本を持っている阿部利夫先生に監修を引き受けていただき、先生の助言ならびに標本と写真を参考としながら、現実に生きている姿を思い浮かべることから始まりました。線を引き、色を塗っていく作業は、モチベーションを高めた創造力がないと、とても実現できませんでした。

一枚仕上げるのに2ヶ月、3ヶ月とかかり、それでも描き直した作品も少なくありません。徐々に慣れるに従って、完成度の高い作品が生まれはじめました。谷川岳の自然のすばらしさと細密描写のすばらしさが一体化してきました。私たち日本人の自然と文化を守り、未来への遺産として引き継いでいく、具体的な現れともいえるのではないのでしょうか。

東京藝術大学美術学部教授
佐藤一郎